考古学地理情報分析計画シート（20250623第1版）

タイトル　関東地方における古墳時代前期円筒埴輪の分布

対象地域・範囲　関東地方

時代・時期　古墳時代前期

研究上の問い　古墳時代前期の円筒埴輪を持つ古墳はどのような場所に分布しているのか。

データセット

・主な分析対象　遺跡地図

・データソース　文化財総覧WebGIS

前方後円墳集成（書籍）

各都道府県文化財GIS

Google Map

・データ整形　位置情報を手動で取得

　　　　　　　円筒埴輪・円筒形土製品・壺形埴輪の出土の有無を入力

地理情報解析対象

・ラスタデータ　地理院10mDEM→標高データ取得及び可視領域分析のため

・ベクタデータ　国土数値情報河川データ→主要河川流路のデータ取得のため

解析手法

・地理空間情報の取得（標高）　入力データセットと解析対象データを重ね合わせ、ポイントで取得する。

　・ラスタ：プロセシング→ラスタ解析→ベクタレイヤにラスタ値を付加

　・ベクタ：フィルタ→名称から主要河川を抽出

・遺跡の所在地と標高データを組み合わせて、可視領域分析を行う。

　・ラスタ： GDAL→ラスタその他→見通し領域（視点からの最大距離を15kmで設定）

・集計：属性テーブルをCSVで書き出す

図化

・背景地図　地理院タイル（陰影起伏図）

・重ね合わせ地理情報　標高

・図化

　・分布図　入力データポイントの表示

　・その他の解析図　見通し領域の表示